

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会
関係府省庁連絡会議（第10回）議事録

日 時：令和元年7月12日（金）11：45－11：55

場 所：総理大臣官邸2階小ホール

出席者：

議 長 内閣官房副長官（事務） 杉田 和博

議長代行 内閣官房東京オリンピック
・パラリンピック推進本部事務局長 平田 竹男

副 議 長 内閣危機管理監 沖田 芳樹

内閣官房副長官補（内政担当） 古谷 一之

内閣官房副長官補（外政担当） 兼原 信克

内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当） 前田 哲

文部科学事務次官 藤原 誠

構 成 員 内閣情報官 北村 滋

内閣法制次長 近藤 正春

内閣府事務次官 山崎 重孝

警察庁長官 栗生 俊一

金融庁総合政策局総括審議官
【金融庁長官代理出席】 白川 俊介

消費者庁長官 伊藤 明子

復興庁事務次官 末宗 徹郎

総務事務次官 鈴木 茂樹

法務事務次官 辻 裕教

外務事務次官 秋葉 剛男

財務事務次官 岡本 薫明

厚生労働事務次官 鈴木 俊彦

農林水産事務次官 末松 広行

経済産業事務次官 安藤 久佳

国土交通事務次官 藤田 耕三

環境事務次官 鎌形 浩史

防衛事務次官 高橋 憲一

【諸戸統括官】

ただ今より、第10回2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関係府省庁連絡会議を開催します。

本日はご多忙の中ご参集いただき、ありがとうございます。

私の方で進行を務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。

まず、会議の開催に当たり、杉田副長官からご挨拶をいただきたいと思ひます。杉田副長官、よろしくお願い致します。

【杉田副長官】

今日は10回目の会議ということですが、来年の7月24日はオリンピックの開会式ということで、あと1年ちょっとでいよいよ大会が始まります。

政府としてはこれまで、平成27年に閣議決定した「オリパラ基本方針」に基づいて、大会の円滑な準備及び運営と、大会を通じた新しい日本の創造に係る取組を着実に進めてまいりました。

先月のオリパラ推進本部では、安倍総理から、特に、一つ目に大会本番に向けた準備が実行段階に入ること、二つ目に「復興オリンピック・パラリンピック」について、閣僚全員が復興大臣であるとの認識の下、政府一体となって取組を進めること、三つ目に共生社会の実現やホストタウンなど、次世代に誇れるレガシーを創出し、国内外へ積極的に発信することなどの発言がございました。

また、各閣僚に対し、今年9月20日から始まるラグビーワールドカップと東京大会、両大会の成功に向け準備に万全を期すよう、指示がございました。

申し上げたとおり、ラグビーワールドカップは9月20日から、東京大会は来年7月24日から始まるわけですが、関係府省庁におかれては、総理のご発言及びご指示を踏まえて、次官の皆様が先頭に立って大会の成功に向けて取り組んでいただきますようよろしくお願い致します。

【諸戸統括官】

それでは、議事に入ります。本日の議事は報告事項です。

「2020年東京大会に向けた最近の取組」について、平田事務局長よりご説明をお願いします。

【平田事務局長】

資料1をご覧ください。

2020年東京大会がいよいよ来年に迫ってまいりました。テストイベントが始まり、大会本番に向けた準備が実行段階に入りますが、政府として、この夏、特に取り組むべき課題についてご説明いたします。

1ページをご覧ください。暑さ対策について、政府としてはこれまで、ハード・ソフト両面で取組を進めてきました。

今年の夏のテストイベントにおいては、組織委員会、東京都が重点的に試行・検証を行う5競技であるビーチバレー、ボート、トライアスロン、ホッケー、マラソンにおいて、厚生労働省や環境省等が連携し、しっかりと支援していただきたいと思ひます。

加えて、政府においては、「夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン」の活用や暑さ指数の測定、訪日外国人に対する情報発信等、これまで取り組んできた暑さ対策を試行するとともに、しっかりと検証していただきたいと思ひます。

今夏の試行結果を検証したうえで、今後開催する関係府省庁等連絡会議において、検証結果を関係者が共有し、大会本番に向けて更なる対策の強化を図って参りたいと思ひます。

2ページをご覧ください。2020年東京大会においては、円滑な大会輸送の実現と、経済活動、市民活動との共存のため、経済界や国民の皆さまの協力を得て、交通量を減らす必要があり、大会1年前の今年の夏に、交通マネジメントの試行を官民で行います。

その際、国が率先して取り組む必要があります。例えば7月24日には、本府省等常勤職員の5割が、休暇取得、テレワークや時差出勤等を行うこととしており、関係府省庁の御協力をお願いいたします。あわせて、各府省庁が所管する関係業界へ積極的な働きかけをお願いいたします。

5ページをご覧ください。国内では風しん、麻しんの患者が増加しており、例えば、ゴールデンウィーク中に我が国の水際対策にあたる成田空港職員が麻しんを発症した事態が生じました。他方、米国でも昨年秋、風しんワクチン未接種等の妊婦に対し、我が国への渡航注意喚起が出されるなど、オリパラ大会を前にして、感染症に注意を要する状況が続いております。

政府としては、今年4月に感染症対策に関する関係省庁等連絡会議を設置して検討を進めてきており、この夏に大会に向けた感染症対策に係る推進計画を策定することとしています。

しかしながら、先般、G20大阪サミットにあわせて開かれた会議に出席していた政府系金融機関の総裁が風しんと診断された事案等を踏まえると、関係府省庁においては、風しんの無料クーポン券等を使った抗体検査・予防接種の徹底を職員に対して呼びかけることはもとより、直ちに対応すべきことを速やかに実行に移すべく、早急に対策をとりまとめ、政府一丸となって着実に実行していただきますようお願いいたします。

6ページをご覧ください。ホストタウンは、登録件数346件、自治体数414、相手国・地域数134まで拡大しています。

先月、総理にもご参加いただき「ホストタウン首長会議」を開催しました。また、他のモデルとなる自治体を先導的共生社会ホストタウンとして認定する取組を開始しております。

来月に開催されるT I C A D 7の機会等も活用して、アフリカを始め登録を進めていきたいと考えていますが、関係各省庁におかれてもより一層のご協力をお願いいたします。

7ページをご覧ください。復興オリンピック・パラリンピックは東京大会の柱の一つです。この大会を契機とした被災地復興の後押しとその姿を世界へ発信するため、鈴木大臣自ら陣頭指揮をとって、関係省庁の取組の進捗や今後の方針の確認を行っているところであります。

内閣官房としましても「復興ありがとうホストタウン」を23件まで拡大し、また、新たに設置した「復興ありがとうホストタウン連絡協議会」の第1回総会を今月、釜石市で開催する予定です。関係各省庁におかれましても、一層の理解と協力をお願いいたします。

8ページをご覧ください。健康面等での自己ベストを目指す個々人の取組を支援する事業・活動を認証する「beyond2020マイベストプログラム」を昨年12月に創設し、健康面等でのレガシー創出に取り組んでいます。

これまでに、学校で児童生徒が取り組む活動など計19件を認証しており、引き続き、このプログラムの普及に取り組んでまいりますので、関係府省庁におかれましても、協力・連携をお願いいたします。

9ページをご覧ください。文化について、中核として位置づけられる「日本博」を実施いたします。また、次世代に誇れるレガシー創出に資する文化プログラムを認証する「beyond2020プログラ

ム」などを通じて、大会の機運醸成を図ってまいります。

10ページをご覧ください。ユニバーサルデザインについて、行動計画に基づき、学習指導要領の改定によるすべての子供達への「心のバリアフリー」教育の実施、バリアフリー法改正等を実現しました。

また、障害当事者を過半の構成員とする評価会議を昨年未設置し、ホテルの一般客室のバリアフリー化、ユニバーサルデザインタクシーの車体改良や乗務員の研修義務化などに取り組み、共生社会を実現します。第3回評価会議に向けて、ご協力をお願いいたします。

東京大会による成果を一過性のものとせず、次世代に誇れるレガシーを創出し、国内外へ積極的に発信する必要があります。

2012年のロンドン大会においては、政府やロンドン市を含めた関係機関等が連携しながら、レガシーレポートの作成や海外への広報活動などを実施しており、こうした取組も参考にしつつ進めていきたいと思いますが、各府省庁におきましても、来年度の予算要求も含め、今年度よりレガシーに係る取組についてご検討をお願いいたします。

なお、この他、全ての施策の詳細な工程表についても、資料2として配布させていただいております。関係各府省庁の皆さまにおきましては、大会成功に向けて、これから1年、一層の取組の推進をお願い申し上げます。

【諸戸統括官】

ありがとうございました。

なお、参考資料2として、先月7日にオリパラ推進本部及び閣議で決定され、国会に報告された「大会の準備及び運営の推進に関する政府の取組の状況に関する報告」を配布しております。

また、文部科学省から、参考資料3として「ラグビーワールドカップ2019の準備状況について」ご報告をいただいております。

これまでの説明に対しましてご意見等がある方はご発言をお願いします。

ありがとうございました。最後に、杉田副長官より、一言ご発言をいただきたいと思います。杉田副長官、よろしく願いいたします。

【杉田副長官】

毎回申し上げていることではありますが、皆様方をお願いしたいことは、まさに進捗管理であります。特にオリパラについて専門に職務に当たっている職員はどうしても視野が狭くなってしまいがちである。そういう意味で、次官の皆様方には、より広い視点に立ち、様々な事態に備えて職員の指導にあたっていただきたい。

暑さ対策と輸送については、大会1年前となるこの夏に試行を行います。

それから、風しん、麻しん等の感染症の対策についても、この夏に政府一丸となって取組を進めていきますが、そうした時に、皆様方の指摘というのは非常に有意義であると考えておりますので、どうかよろしく願いいたします。

【諸戸統括官】

ありがとうございました。本日の会合はここで閉会とさせていただきたいと思います。

なお、本日の議事内容については、配布資料を含め内閣官房から公表することを予定しておりますので、ご了承ください。本日はありがとうございました。